

勸善懲惡錦新開

第二十號

京都府下上京第十區中賣
上福寺上佐々木清次良小倉地
織職業は下職人多き其
中上京第七區笹屋町
森宗寺に當九五年三月
同第十五區中立賣通中嶋
徳次良の母おまつといふりのハ
當四十二年十月より
此兩人三四年前より

佐々木
の方
織子と云
縁は深く
下剛漆で深
りて宗吉帯で病身ものよて十
分は縁さしりける也おまつも常々
辛勞はいつく思ひつづく居りけ
六月三日兩人とも大坂下り

所々見物はついで金子も遣ひんじ
京へ歸りて歸りて死ぬ外は志
くはと思ふまゝ兩人覺悟と極
て川の運上所の門に書置
認め天神橋より投身せし巡吏
又見付りて幸ひは命助り京都
府へ送りしといふる者りや
あまりの無分別さや

時習舎編輯
おまつ



新聞局

本町四丁目
藤井時習舎

80
75
70
65
60